

## ☆世界史科設置講座

- 世界史の学力が一定以上であり、かつ論述が出題される大学を志望校とする生徒を対象として以下の 2 種類の講座を設置しています。

- ・世界史論述基礎講座
- ・世界史論述基礎＋応用講座

### 〔注意点〕

- 基礎的な世界史の内容を確認するためではなく論述問題対策として開講されるため、対象は前近代の世界史の通史の勉強が順調に進んでいる生徒としています。

前近代の復習が十分に済んでいない生徒は、講座内容についてい

けない可能性が高いので、受講をお勧めしません。

- 講習中は世界史の勉強に対して、普段より大きな時間を割いて貰うことになります。よって、同じ期間に他の講習を入れてしまうと、この講習の勉強時間が確保できず消化不良になる可能性があります。極力そのようなことは避けて下さい。
- 扱う通史範囲は古代から近世(アメリカ独立革命・フランス革命・産業革命まで)です。
- 授業は後半(12:00～)ですが、授業前後に個人指導を行います。授業前後のどちらか1時間は必ず空けるようにしてください。
- 早大(文)は、昨年度論述の字数が大幅に増加した影響で論述講座(基礎)対象ですが、この傾向が今年度出題されるか不透明な点、併願が多いと考えられる早大(文構)・慶大(文)で論述が出題されない点を踏まえると、英語や国語の勉強の余裕がある生徒に限って受講をお勧めします。
- 東京外大は、出題される論述そのものは論述講座(基礎＋応用)対象ですが、配点等を踏まえると英語に勉強時間を費やした方が合格の可能性が高いと考えられますので、受講はお勧めしません。

## 講座名 **世界史論述基礎講座**

講座番号 **FO-16** 8/9(木)~8/11(水) (3日間)

**12:00~14:30 お茶の水校舎**

【対象者】60字以上の世界史論述を課す大学の志望者

- ・東大、京大、一橋大、筑波大、千葉大などの国公立大学の志望者\*
- ・津田塾、学習院、早稲田（法、政経、商）、慶應（経済）、明治（政経）、中央（経済）など論述を出題する私立大学の志望者
- ・TEAP入試による上智大学志望者\*（個別入試の志望者は受講の必要はない）

※の志望者は基礎講座のみの受講も受け付けていますが、世界史論述基礎+応用講座の受講をお勧めします。

【目標】

**一般的な論述問題に対する基礎的・普遍的な解法を完璧に身につける。**

【講座内容】

本講座は、世界史論述を課すあらゆる大学の志望者を対象とする、論述対策の基礎講座です。志望校への現役合格を勝ち取るため、上記の目標に基づいた方針で講座を行います。

栄光会世界史科による論述基礎講座の一番の目的は、**論述問題の解き方の手順と頭の動かし方を理解し、そして実践演習と添削によって入試に必要な解答作成能力を養成すること**にあります。

世界史論述について、多くの予備校では単に【問題を解く→内容の解説】という指導が行われていますが、それでは初見の問題に対応することはできません。本講座では**どのような論述問題であろうが使える普遍的な頭の動かし方を身につけさせる**指導を行っていきます。

そのために、**問題文から解答すべきことを「読み取り」、読み取った内容をパターン化してその意味を「理解」し、自分の持っている世界史の力を合わせて解答に必要な要素を「書く」能力**を3日間の講座を通して養成していきます。

また、本講座を受講することで、厳選した論述問題に基づいて**古代から近世の通史を効率よく復習**するという効果も期待できるでしょう。

さらに、各生徒に対して**個別指導を充実**させ、今後の勉強法なども指導することをお約束します。

## 講座名 **世界史論述基礎＋応用講座**

講座番号 **F0-19** 8/9(木)～8/15(水) [8/12(日)休み] (6日間)

**12:00～14:30 お茶の水校舎**

【対象者】300字以上の世界史論述を課す大学の志望者

- ・東大、京大、一橋大、筑波大、千葉大などの国公立大学の志望者
- ・TEAP 入試による上智大学志望者（個別入試の志望者は受講の必要はない）

【目標】

**難解な論述問題を通して、設問に対し正確に受け答える力や「世界史の全体像」を考察する力など、これらの論述を解く際に必要な思考力を養成する。**

【講座内容】

本講座は前半3日の基礎講座と後半3日の応用講座の2部構成となっています。基礎講座については『**世界史論述基礎講座**』の【講座内容】を確認してください。以下は、応用講座の講座内容です。

本講座は、世界史論述を課す中でも難しい論述を出題する大学への対策の応用講座です。志望校への現役合格を勝ち取るため、上記の目標に基づいた方針で講座を行います。

基礎講座で学んだアプローチを用いれば一般的な論述問題は解けるようになりますが、正直なところそれだけでは、難関大レベル（「対象者」に挙げた大学）の論述問題が全て解けるようにはなりません。

難関大レベルの論述問題を解くためには、**難解な設問に対して正確に受け答える能力や歴史の事象に因果関係や比較要素を発見する力**が必要になるためです。また、指定語句どうしにつながりを与え、**既習の知識を再構築する創造力**も問われる場合があります。本講座では応用的な過去問をベースに演習・解説形式で問題にあたることを通して、こうした論述問題へのアプローチ方法を習得してもらいます。

基礎講座と同じく、各生徒に対して**個別指導**を充実させ、今後の勉強法なども指導することをお約束します。